



# 『議会のリアル』 — 傍聴者(視聴者)の声 —

ライブ配信視聴数 117名 録画配信視聴数 259回

※視聴数は、1時間ごとの視聴数を積み上げた数です。

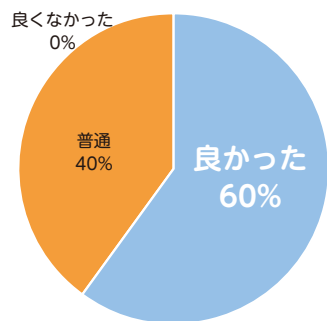


録画配信は  
こちら↓

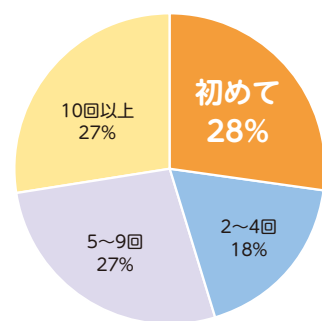
第4回定例会一般質問で、どの議員の一般質問に関心を持ちましたか？



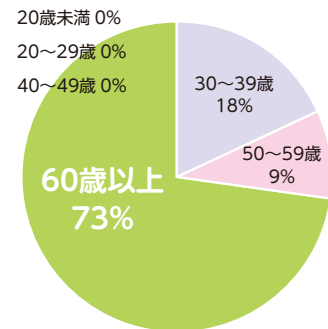
第4回定例会一般質問を視聴  
(傍聴)してどう感じましたか？



一般質問を、今まで何回視聴  
(傍聴)したことがありますか？



あなたの年齢を  
教えてください。



60歳以上:女性  
ドローンの導入は、消防署にあるなら町でなくても良いと思う。  
また、須恵町の施設の現状を知れて良かった。空家と子どもたち居場所作りに何かできたらいいな  
と思いました。とても難しいことだとは思いますが。

30歳代:回答しない  
議員が前もって事前に調査をしていれば、議論が深まったんじゃないかと思いました。

60歳以上:男性  
今回の一般質問は内容が濃かった。

40歳以上:女性  
もっと町民が関心ある質問を  
してほしい。

60歳以上:女性  
町内のことがよく分かってよかった。  
(今回は特に感じた)

松山議長



## 『皆さまの声を、町に』

一般質問は、須恵町の行政全般にわたり、事務の執行状況および将来に対する方針などについて所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質することです。町民の負託を受けている議員には、皆さまの声に耳を傾け、その上で独自の調査を行い、一般質問につなげてもらいたいと思います。

※お寄せいただいたご意見は、全議員がすべて読ませていただいています。

かわはら ゆきはる  
川原 幸治 議員が問う

生活



## 空家の有効活用を

質問を終えて

地域の課題は地域で解決。空家対策がもっと活性化し、安全・安心に、誰もが住みたくなる須恵町であり続けることを期待します。

映像はこちら



地域振興課長 空き家バンク

川原 町独自での、空き家バンクなどの活用を検討したか。

地域振興課長 定期的な協議会には行っていない。区長会の後に話すことがあるだけで、特に年に何回と決めていない。

川原 除却、予防、利活用と空家に対して3つのアプローチがあり大切だが、各行政区域や空家対策協議会との連携はとれているのか。

地域振興課長 令和5年から6年の空家実態調査の結果、空家が239軒、そのうち特定空家に1軒認定している。

川原 全国に空家は900万戸あり、そのうち放置空家が400万戸と言われている。65歳以上の単身高齢者世帯も900万戸あり、75歳以上の後期高齢者の割合が6割以上とも言われている。

須恵町の空家の数と、そのうち特定空家や管理不全空家は何軒あるのか。

川原 空家を子どもたちの集いの場や、小中学校に行けない児童生徒の学びの場や事業者誘致を行う考えは。

地域振興課長 福岡都市圏と言ったこともあり、現在は、活用と言ふよりは、民間の売買に期待しているところである。

川原 空家を有効活用しているのか。

地域振興課長 臨機応変に活用していく。

川原 住まいのエンディングノートなど、今後活用する考えはあるのか。

川原 住まいのエンディングノートなど、今後活用する考えはあるのか。

地域振興課長 空家はあくまでも個人の財産であり勝手に扱うことができない。所有者から申し出があり、立地、条件が整えば有効活用をしていきたいと考えている。

必要ものを  
臨機応変に活用する

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。

住まいの  
エンディング  
ノート  
詳しくは↓



住まいのエンディングノートの活用も有効だと考えます

川原 対策協議会や各行政区域との連携を活発にし、もっと空家を利活用していける須恵町になることを期待する。

空家はあくまでも個人の財産であり勝手に扱うことができない。所有者から申し出があり、立地、条件が整えば有効活用をしていきたいと考えている。

必要ものを  
臨機応変に活用する